



写真は第15回全国女性交流集会



No.366

編集発行人 中西三洋  
治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

〒113-0034 東京都  
文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター・全労連  
会館  
電話 03(5842)6461  
FAX 03(5842)6462  
振替 00110 6 97793  
定価 50円

## 迫りくる改憲の策動に抗して

### 主 な 記 事

第15回全国女性交流集会ひらく	2
04年同盟回顧・国内外の動き	3
抵抗の群像・反戦ビラを撒いた相良新一	4
同盟短歌 碓田のぼる選／治安維持法と現代をよむ	5
教育基本法の改悪をとめよう／事務局日誌／他	7
	8

すでに自民党は「憲法改正大綱」案を発表。この原案は九条を全面改悪して「自衛軍」をつくり、国連軍はもとよりアメリカの企てる戦争に参加し、武力行使を認めるといった内容。「天皇元首化」も強調しています。

韓国では「朝鮮半島での戦争の危険が高まる」と憂慮し、きびしい批判の声を上げています。

中国でも胡锦涛主席は小泉首相に、「日中間の全般的友好・親善関係の進展のために、阻害となっている、いわゆる『靖国参拝』を止めるよう」求めました。

この「大綱」案について自民党は「二〇〇五年秋に「改憲案」全文を予定し、民主党も来年春に「改憲骨子」、再来年に「改憲案」を策定公表するといわれます。

公明党はこの保守二大政党の改憲の動きを横眼にして、創価学会内部の一部異論の中でも、九条も加憲の対象とし、「国連軍としての自衛隊の集団的自衛権」を認める態度を表明しています。

国会はすでに三分の二以上改憲派が占める一方、国民世論は九条堅持が六〇%以上という現状。憲法改定の最後の決め手は国民投票です。

私たち同盟の特性は戦争の暗黒政治の歴史的体験。その体験にもとづく歴史認識とその国民的普及が、同盟独自の諸活動や五〇万署名運動などとともに、重要な今日的課題となっています。

# 生き生きと、したたかに、しなやかに……

## 第15回全国女性交流集会ひらく

第15回全国女性交流集会は11月12、13日の二日間、熱海「ホテル池田」で開催され、29都道府県から67名が参加しました。とくに青森県から24歳の方が、大阪からも若い方が参加されるなど、参加者に大きな勇気と元気をもらうことができました。

集会の模様を、全体のまとめをおこなった溝渕政子さん(高知)の発言から紹介します。

### はじめに

今年の集会は、戦後の歴史が重大なわかれ目に直面している時に開催されました。戦争する国づくりの悪政の中で、私たちは命とくらしを守るたたかいを各地で果敢に進めてきました。

治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を国に求めることは、再び戦争と暗黒政治をゆるさず、憲法を国に守らせるたたかいであると位置づけ運動の軸としてきました。

一、会員を増やし組織を大きくする

二、五〇万署名などの課題を達成する

三、女性部活動はやさしく、楽しく

をテーマに運動を進めています。



講演された根本弁護士

### 石川さだのさんのたたかいに学ぶ

まず、犠牲者とそのご遺族の報告がありました。犠牲者の出席は松崎濱子さんお一人になって淋しく思いましたが、出席はできませんでしたが甲府市の「石川さだのさん」のたたかいの報告が、山梨の方からありました。日弁連が石川さんの戦前の治安維持法による市役所からの解雇に名誉回復を甲

府市長に勧告しました。甲府市は「調査報告の事実を調査の上対応していきたい」と答弁しています。「不屈」十月十五日号に掲載)「私は自分の名前がない時期がありました。それは囚人 番という名前でした」「名誉回復ができなければ死ねません」という石川さんを、石丸あきじさんたちがしっかりと支えています。

犠牲者のご遺族の四津谷伸子さん、上甲まち子さんの明るい報告にまた感動しました。非国民、国賊とさげすまれながら、よくぞ今日までがんばってこられました。胸を張って、上を向いて堂々と生きられる姿をみて、私たちも共がんばりたいと思います。

### 国連要請活動に参加して

今年の国連要請行動は、何といつても福岡県から五名出席したことです。山形県の鈴木光子さん母娘の参加も頼もしいことです。すでに報告書も作成され報告活動が各地で続けられています。年を重ねるごとに国連という舞台の中の活動の大きさが国際連帯を強めてきています。



アメリカの大統領選挙。ブッシュが再選しましたが、五一%対四九%の大激戦。ヨーロッパやアジア

の主要諸国の事前の世論調査では、ケリー支持が圧倒的でした。世界で唯一の超大国アメリカの一国行動主義が世界の平和と安全、社会発展に重大な影響もたらすと懸念されたからです。国際世論はいわば「よりましな政府」の選択をアメリカ国民に期待したのですが、はげしい選挙戦のかけで二人のムーアが活躍しました。ブッシュを上げしく非難し攻撃したのは「華氏九・一一」のマイケル・ムーア監督。もう一人は反ケリーの急先鋒を買って出た、ブルース・ムーア牧師。映画監督の方はすでに有名ですが、ムーア牧師はアメリカ南部の共和党幹部で宗教右派の指導者。「同性婚と妊娠中絶の合法化」のケリーを上げしく攻撃しました。たたかい終えて、ムーア牧師は「倫理的価値観の勝利」を謳い、ムーア監督もますます意気軒昂、四年後の雪辱を誓っています。(二)

「国体の護持と治安維持法」を学ぶ

今年の学習は、根本孔衛弁護士  
の「『国体』の護持と日米同盟の  
強化に対抗する治安維持法被害回  
復運動」という演題でした。

国際的な視野からみた歴史と課  
題を学ぶことができました。「国  
体」を膨張し戦争へと進めた国の  
流れに抵抗した私たちの先輩の命  
がけの活動にあらためて敬服しま  
した。

今、私たちは「憲法を守る」運  
動の先頭に立っています。憲法は  
二十一世紀を生きる日本国民の指  
針であると同時に世界平和の流れ  
を示す道しるべです。もの言えぬ  
暗黒社会とされた戦前の苦難の歴  
史を二



分散会でも活気ある討論

度とく  
り返さ  
せない  
ため、  
広範な  
人々と  
手をつ  
なぎ平  
和の道  
を堂々  
と歩ん

でいこうと決意が深まった講演で  
した。

同盟会員をふやしましょう

会員拡大の取り組みは、最近ブ  
ロック会議や中央理事会の中で女  
性部の活動報告がたくさん聞かれ  
るようになりました。情勢や任務  
にこたえられる女性部活動を進め  
るために、この一年の運動の重点  
に「会員ふやし」を置きました。

一日も早く全部の県に女性部を確  
立することが急がれます。最近で  
は高知、岡山、青森、大阪と二〇  
歳代の若い人が増えていきます。こ  
の人たちの集まりも発展的に考え  
てみたら、例えば、若者のつどい  
「青年の会」なども楽しいだろう  
と考えます。

青森県では今年十三名の会員拡  
大ができました。「今まで声がか  
からなかった」「入会しなければ  
と思っていた」との返事があつた  
と報告がありました。鳥取県では  
芋料理を食べながら交流して今ま  
で十七名拡大し楽しいと話されま  
した。毎年十名ぐらい増やしてい  
る神奈川県。一ヶ月一人ふやしを  
目標にしている奈良県。大分県で  
も高知県でも計画を立てて拡大運

動を進めています。困難な状況の  
中ががんばっている県もありまし  
た。長野県では、会員減少が続く  
中でなんとかして女性部を再建さ  
せようと努力していること。悩み  
や決意も報告されました。静岡県  
や宮城県も女性部確立の決意を深  
めて帰りました。

五〇万署名をめざして

署名をどうやりあげるか。  
「一人一枚を」「いつでも、ど  
こでも」を合言葉に各県ともが  
ばっていました。

町内会、新婦人、読書会、母親  
大会、ネットワーク、赤旗まつり  
などに出向いて集めた貴重な報告  
がたくさんありました。全国で五  
〇万署名が目標であることを視野  
に入れ、自分の県の目標は必ず  
完成させましょう。年末までに和  
歌山県は七〇%完成を目指してい  
ます。各県は目標の五〇%を完成  
させましょう。

楽しく、生き生きと

和歌山、東京、大阪、鳥取、北  
海道などでバスツアー交流会がお  
こなわれました。伊藤千代子没記  
念集会、多喜二祭の成功、新春の

集い、山菜を楽しむ会、韓国へ：  
…など、会員の持っている能力を  
引出し、生き生きと、楽しい、女  
性らしい心配りの行事がたくさん  
花ひらきました。

自立した女性部活動を目ざした  
工夫した財政づくりも各地から報  
告され、女性のたくましさであら  
ためて確認しました。

夜交流会も格調の高いもの  
でした。四名しかいない女性会員  
の中から内村千尋さん(瀬長亀次  
郎さんの娘さん)が出席された沖  
縄の平和運動の報告は貴重なもの  
でした。

諫山 博さん

来年は治安維持法成立八十年、  
廃止六十年です。平和のすじ道を  
はつきり示す運動を生き生きと、  
したたかに、しなやかに積みあげ  
て来年またお会いしましょう。

同盟元中央本部副会長、福岡県  
本部元会長・弁護士諫山博さん  
が11月27日腎不全のため死去。82  
歳。板付基地闘争、三井三池裁判、  
治安維持法国家賠償法制定運動な  
ど数々の生活と権利を求めて活躍  
してこられました。

同盟回顧・2004年

二〇〇三年

12月10日 イラク派兵阻止緊急中央集会

(日比谷野外音楽堂)

12月18日 国際人権委員会日本委員会に

斉藤久枝参加

12月19日 古川しげる墓前祭参加

二〇〇四年

1月20日 中央三役会議

1月21日 新春中央理事会(自衛隊のイ

ラク派兵反対、憲法改悪反対、五月国

会請願成功をめざし国賠署名五十万の

目標達成へ)

1月21日 イラクへの自衛隊派兵に抗議

し、直ちに派兵計画の中止を要求する

(抗議声明1月22日内閣総理大臣小泉

純一郎宛送付)

1月29日 国際人権活動日本委員会に斉

藤久枝・鳥袋参加

2月5日 防衛庁包囲ピースキャンダル

ナイトに参加

2月9日 都本部女性部 春を呼ぶ集い

全労連会館(65人参加)

2月18日 解放運動無名戦士台葬追悼会

実行委員会

2月19日 第16回中野杉並渋谷多喜一祭

2月22日 中央区戦争展で講演(斉藤事

務局長)

2月26日 国際人権活動日本委員会代表

者会議

3月16日 同盟中央拡大三役会議・組織

部会/国際部会

3月17日 第二回常任理事会/国会請願

が三十四万二千余の請願署名を四一七名の国会議員に提出し、紹介議員受諾を要請、河野衆議院議長にも面会要請

5月24日 倉田参院議長、野沢法務大臣に面会要請

5月25日 同盟中央本部国際部会

6月8日 国際人権活動日本委員会に国際部斉藤久枝、中村洋子参加

6月12日 東京出身の革命家加藤四海墓参会に参加

6月24日 参院選公示

7月11日 参院選投票

7月21日 同盟中央三役会議

7月22日 同盟中央理事会

7月23日 ジュネーブの国連へ斉藤久枝国際部長出発

7月24日 「九条の会」発足記念講演会



中国ブロックの会議

国内外の動き

03年11月29日 イラクで日本人外交官二名が殺害

12月8日 太平洋戦争開始62周年、各地で自衛隊イラク派遣反対行動 国連総会、核兵器廃絶を決議

12月13日 フェイン・イラク元大統領拘束

12月16日 ローマ法王が米国のイラク侵略を批判

12月23日 教育基本法改悪に反対する全国集会

12月26日 イラク派兵で航空自衛隊が成田空港出発

04年1月1日 小泉首相が突然、靖国神社を参拝

1月4日 自民・公明・民主が武器輸出緩和を主張

1月25日 「自衛隊派兵反対」で全国で行動、日

比谷野外音楽堂に六千人、銀座デモ

2月5日 一万人の平和の灯が防衛庁を包囲行動。米大統領がイラク侵略の口実とした大量破壊兵器は発見されていないと発言

2月6日 日本ペンクラブがイラク派兵反対で集会。

2月13日 自衛隊のイラクからの撤退を求め東京明治公園に一万二千人集う

3月1日 被災50年でピキニデー一八〇〇人が集う

3月1日 韓国大統領が小泉首相の靖国参拝を批判

3月5日 警視庁がピラ配布の堀越明男さんを国

公法違反として不当逮捕、抗議広がる

3月11日 スペインで連続爆弾テロ

3月16日 子どもが「君が代」を歌わなければ教師を処分すると都教育委員会、抗議広がる

3月20日 米英のイラク侵略一年で国際抗議行動、東京で三万人、基地包囲など全都道府県で行動

4月8日 イラクで日本人三人が人質に、15日解放

4月17日 新たに日本人二人拘束、17日無事保護

4月26日 平山郁夫、井上ひさし氏ら世界平和七人委員会がイラクでの軍事暴力停止のアピール

発表



国会請願

- 5月1日 中央メーデーに参加
- 5月7日 同盟中央三役会議
- 5月8日 埼玉の「小林多喜二と野呂栄太郎」講演会に参加
- 5月18日 全国から一四一名の同盟代表
- 3月25日 ピラ配布弾圧事件抗議文を内閣総理大臣、検察庁長官、国家公安委員長、月島警察署長宛に送付/国際人権活動日本委員会代表者会議参加(斉藤久枝・他1人)
- 3月18日 第56回解放運動無名戦士合葬追悼会に参加
- 3月20日 国際共同行動芝公園集会に参加

- 7月29日 亀戸事件八十一周年実行委員会に斉藤事務局長参加
- 8月4日 国連要請団、外国NGOとラオンチブリーフィング(ジュネーブ)
- 8月6日 国連要請団、ジャパンデー(ジュネーブ)
- 8月21、22日 日本母親大会に参加
- 8月28、29日 「多喜二シンポ」に参加
- 9月5日 亀戸事件八十一周年記念集会。斉藤事務局長が追悼の辞
- 9月11日 憲法会議拡大幹事会に参加。
- 9月23日 伊藤千代子没後七十五周年の集い(三〇六人参加)
- 9月24日 安保破壊実行委シンポ、四十年レセプションに参加
- 10月4日 同盟中央三役会議
- 10月5日 同盟中央常任理事会
- 10月16日 日朝協会主催、東北アジアの平和と六者協議講演会に参加
- 10月23日 「国民投票法案シンポ」(五・三実委)に参加
- 11月6日 「教育基本法改悪とめよう」日比谷野音集会に参加
- 11月8日 同盟中央拡大三役会議
- 11月12、13日 第15回全国女性交流集会 講師根本孔衛弁護士(二十九県七十二人参加)
- 11月18日 解放運動無名戦士合葬追悼会 実行委員会に参加
- 11月28日 国際人権委員会日本委員会に参加
- 11月30日 イラク派兵延長反対日比谷野音集会参加・署名活動

- 5月1日 第75回メーデー、代々木公園に四万二千。
- 5月3日 憲法記念日に各地で集会やパレード
- 5月4-6日 米大統領訪欧に十数万の抗議デモ
- 5月6日 国民平和大行進、夢の島公園を出発
- 5月9日 チェチェンで爆弾テロ、大統領死亡
- 5月10日 井上ひさし、大江健三郎ら九氏のおびかけで「九条の会」発足
- 6月4-5日 年金改悪法案、参院で強行成立
- 5月27日 イラクで日本人記者二人襲撃を受け死亡
- 6月14日 参院で有事関連法が自・公・民で成立
- 6月23-24日 北朝鮮問題、第三回六カ国会議
- 7月9日 中国人強制労働で広島高裁が西松建設に賠償命令
- 7月11日 参院選投票結果、自民四九、民主五〇、公明一一、共産四、社民二
- 7月13日 沖縄の米軍ヘリが大学構内に墜落、抗議広がる
- 8月1日 独シユレーダー首相がポーランドの「ワルシャワ蜂起」60周年式典でナチス犯罪を謝罪
- 8月2-9日 原水爆禁止世界大会開く
- 8月15日 59回目の終戦記念日、各地で宣伝行動
- 8月21-22日 日本母親大会開く
- 9月7日 イラクでの米兵死者千人をこす
- 9月15日 アナン国連事務総長がイラク戦争は「国連憲章違反」と発言
- 9月18-19日 労組日本プロ野球選手会がファンの圧倒的な支持の中でストライキ決行
- 10月20-21日 台風23号日本列島襲つ。
- 10月23日 新潟県中越地震。
- 10月27日 イラクで香田誕生さん人質となり、殺害
- 11月3日 米大統領選挙でブッシュが再選
- 11月7日 イラク全土に非常事態宣言、8日、米軍一万一千人がファールージャ攻撃、市民多数が犠牲
- 11月11日 パレスチナのアラファト議長死去
- 11月17日 自民が改憲大綱原案発表

## 抵抗の群像

## 会津若松第29連隊兵舎に

## 反戦ビラを撒いた

## 相良 新一さん



一九三〇(昭五)年四月二十五日、

精銳を謳われた若松29連隊の兵舎内に、軍旗祭の人込みを利用して400枚もの反戦ビラを撒いた反戦活動家たちがいた。翌日の地元紙には「軍旗祭の人出を利用 各種の文書撒布」「軍旗祭に不穏文書」の見出しが踊った。

反戦ビラ入れを計画したのは相良新一らのグループで、当時、日本帝国主義は中国への侵略戦争をもくろんでおり、若松には軍隊があり、反戦運動をやることは、われわれに課せられた任務であると計画されたものであった。

ビラの文章は相良新一が担当、

「親愛なる労働者・農民よりなる兵士諸君！」という書き出して、戦争の危機が迫っている。「あなた自身もこの戦争に反対せざるをえない」と、戦争に反対して闘うよう訴えたものであった。

ビラを撒く者は、相良新一と常日頃ともに行動している柴田清作は、特高に知られているので除外し、他の組織から十二人を選んだ。29連隊は、中隊が12中隊と機関銃が1個中隊の編成で、一人が1中隊を担当し、そのほかに移動本部として佐藤一郎があたり、時間を切って行動を開始した。

一人30枚くらいのビラを持って全員がいつせいに正門から入り、十分か二十分の時間内で配り終え南門から出る、出入口に二人の見張りを立て、任務を終えて出てくる者を確認し、事故が起きて出て

こなければすぐ分るようにはしていた。ビラは各隊内の整理箱、寝台の下、便所の中などさまざまな場所にまんべんなく入れてきた。相良と柴田はアリバイづくりのため、若松駅にある玉突き場で玉を突いて遊んでいて終了の合図を待っていた。

ビラ撒きは成功したが、その後、特高や憲兵隊の捜査がすすむ。ビラ撒きの組織を全部あげられないためにビラ撒きは相良と柴田に二人でやったことにして、表向きは決着をつけた。警察や軍隊にとっても、公式的には事実無根ということにしたかったという事情もあった。

相良新一は正式裁判を望み、法廷で争った。「このビラのどこが悪い、こんないいことが書いてあるのに出版法違反とは何だ!」「届けてないからと言っただけだ。じゃあ足袋屋の広告はどうするんだ。あれも出版法違反か。どだい話がでたらめ過ぎる。こんな無罪じゃないか」と抗弁した。しかし結末は罰金40円、出版法違反として最高の判決がだされた。

このビラ撒き事件を「第二無産

新聞」が報じたことがきっかけになって、全国各地の軍隊でビラが撒かれるようになる。相良らの反戦運動は先駆者の役割を果たしたこととなった。

その後、相良新一は会津中学をでて医者になった七人の同級生によって「精神異常者」という診断書を書かれて座敷牢に入れられた。さらに郡山の精神病院に入院させられ、一九三七年(昭12)六月に退院した。相良を精神病者としたことは、相良を治安維持法の網から救うために、同級生仲間が考えた手段だったと言われている。

敗戦後、相良新一は山内鎮雄、福田正三らと日本共産党会津地区委員会を結成した。事務所は山内の自宅(山内ヨネ医院、ヨネは鎮雄の母親で、新千円札の肖像にもなった野口英世の恋人であった)の待合室に置かれた。相良は四六年の第一回メーデーで、新調した赤旗をかついで共産党の先頭に立った。八人の子宝に恵まれ、七一年二月二日に69歳で没した。

(福島県本部調査部 赤城弘)

同盟歌壇

碓田のぼる選

埼玉県 寺島 清文

空襲下手渡されたる発禁の多喜二の書にて我は目覚めし

〔評〕戦前回想の歌で「火の海の軍需工場を逃れ来て故郷の山にて敗戦を知る」もあつた。回想の中から、今を生きる重要さが。

千葉県 行木 権平

首切られバグダッドの森に捨てられし日本人青年に星条旗とは

〔評〕結句わかりにくいのが、殺された青年に星条旗がかけてあつたというニュースをさすのであろう。政治の現状への批判含む。

新潟県 加茂川ハル子

電気ガス止まりし生活支えしは壊れかけたる石油ストーブ

〔評〕「人間の驕りに対する戒めか天ゆれ地われ地震襲いたり」も

静岡県 江川 佐一

無差別のファルージャ攻撃続く日を町の雀がちゅんちゅんと啼く

〔評〕アメリカのイラク侵略はファルージャの攻撃でいつそう深刻化している。雀の声を、怒りとも悲しみの声とも聞いている。

東京都 若林 義文

憲法を守れのこえの高まりて反戦平和の吾れを支える

〔評〕日本を代表する知識人九氏の呼びかけによる「九条の会」が発足。力を振げている。水を得た魚のような作者の喜び。

東京都 山崎 元

絢爛と華やくもみじ血の色か夕張百年七千の犠牲

〔評〕「夕張大事故裁判勝利十周年集會に参加して」という付記があつた。日本の近代百年は、こつした犠牲の上に虚構された。

鳥取県 大久保 禮吉

わが歌を同盟歌壇に寄せたれば新興教育の筈あり北の国より

〔評〕作者の歌は、「わが叔父は新興教育で検挙されぬその実践を調べてみなし」であつたが、北の国の研究者の反応だろうか。

東京都 すゞきすみ江

山河の裂けて砕けてうねるとき大地の底の力をぞ識る

〔評〕新潟中越地震について歌つたものであろう。大地の底力を思い知らされながら、転じてわれわれの運動の底力も、との感。

『現代』秋季号を読む

科学的視点を与え

てくれた渡辺論文

青森 高杉さと

女性委員会で『現代』誌をテキストに学習会をやっています。秋季号の渡辺治氏の「9条改憲阻止のために国民の過半数がたちあがる闘いを」日本のいまの苛酷な社会状況が軍事大国化とともに「憲法改正」の願望と結びつくこと、保守二大政党化の策動が改憲を狙つたものであることが良く分かりました。

戦前、戦争の火つけ役だった日本を、平和運動がこれまで戦争に踏み込ませなできたことに誇りをもちました。

「9条を守る」一点で国民の過半数を結集する科学的な視点を表現させる知恵と行動の呼びかけを心に刻みました。

関心あるところから読み進めました

石川 北口吉治

役員全員が秋季号を購入、関心あるところから読んだ。最初に「目テルさんの思い出」彼女は金

沢で戦前最初のメーデーに女性として初めて参加。次に新潟中越地震で被害に遭つた仲間を思い出しながら、「新潟強制連行・労働事件訴訟について」鈴木さんの報告は同盟全体が勉強すべきだと思つた。三つ目に「二大政党制と政治革新」は、そのとらえ方が勉強になりました。「国連報告」は、石川県から二人が参加したので特徴がよくわかつた。

九条改悪の危機が迫るなか展望開く

東京 松田一男

私が治安維持法について理解した初めは何時頃からだつたらう。今の若い人々はどういつた出合いで認識するに至るのだろうか。

『治安維持法と現代』の諸論文は、憲法九条の改悪の危機が一そつ迫っている今、治安維持法を真正面から取り上げ、現実を理解しこれからの展望を切り開く上で、共通して示唆に富むものとなつている。

秋季号の畑田論文は、二大政党のねらいをあばき、あきらめや悲観論をいましめ「たたかつてこそ活路」があり、力づけられる。

### 十一名会員拡大(十月) 和歌山県本部

和歌山県本部は、署名の年内七〇％達成、六〇〇名会員めざし、十月拡大月間を設けてとりくみました。支部(一〇支部)ごとに目標を設け、七支部が事前に学習会を開き、幹事会で対象者をあげて十一名拡大、五六〇名に到達。

成果支部の共通点は、幹事会議と対象者をあげての訪問です。引き続き奮闘中です。(藤沢)

### 「教育基本法の改悪をとめよう！」

#### 11・6全国集会

十一月にしては暑いほどの光線を真向うから浴びた三時間。日比谷野外音楽堂の熱気はすさまじかった。急迫している教育基本法改悪をめぐる情勢に、全国からかけつけた五千五百人の眉宇にはただならぬきびしさがみなぎる。

「お国のために命を投げ出す人間にしたてあげるのですから、個人の価値をたつと」んでもらっては困るといふこと(小森陽一氏)。「公教育の削減がすすみ、教育の市場化がいつそう進む」大

内裕和氏)。壇上から怒りをこめて訴える人の言葉はそのまま会場全体の心、叫びであった。日の丸・君が代強制・処分。性教育への不当な圧力と介入。「つくる会」への行政の加担……教育破壊の策動の実態と、それに対する全国の

### ふたたび、年末財政活動の強化を訴えます

年末がせまっています。中央本部の財政は好転せず、赤字額もふえています。都道府県本部の財政も依然として困難な状況にあります。この赤字を克服し年末財政活動を強化する以外に途はありません。その途は第一に同盟財政の根本である会費一〇〇％完納です。全会員を支部・班にまで組織し、都道府県、支部にまで財政係をおいて体制を強化しましょう。

- 第二に会員拡大をめざし目標(二万六千名)を達成しましょう。
- 第三に千五百万円年末カンパをやりきりましょう。
- 第四に新年名刺広告を超過達成し、代会金一〇〇％回収を。

地域・職場のたたかいの報告。憤激と共感と……惜しみなき拍手と歓声が続く。

ようやく陽が傾くころ、全参加者の熱烈な誓いをあらわす「集会アピール」が満場の拍手で採択された。「教育基本法の改悪は……平等と平和」から「差別と戦争」へと大きく転換させるものにほかなりません。……このような教育基本法の改悪を全力で阻止することをここに宣誓します。(巽)

### 事務局日誌

- 11月6日 教育基本法改悪とめよう日比谷全国集会参加
- 11月8日 同盟中央拡大三役会議
- 11月12、13日 第十五回全国女性交流集会、二九県七一名参加
- 11月18日 第五七回無名戦士合葬追悼会実行委員会参加
- 11月23日 都同盟理事会に斉藤事務局長参加
- 11月30日 イラク派兵延長反対日比谷野音大集会に参加

〈寄贈図書〉

『希望としての憲法』花伝社

小田中聰樹著

### ●治安維持法と現代を結ぶ同盟の総合誌

## 『治安維持法と現代』 2004年秋季号 好評発売中

【主な目次】二大政党制と政治革新(畑田重夫)、「日の丸・君が代」強制はなにをもたらすか(葦沢忠雄)、9条改悪阻止で国民の過半数獲得を(渡辺治)、有事法制と戦時体制づくり(山田朗) 以上の各氏が論考。いわさきちひろ・勝目テルさんの思い出、劉連仁記念碑除幕式参加記、第8回国連要請行動報告、元博物館長にアウシュビッツの抵抗闘争を聞く、話題を読む・農民運動の系譜・文芸・その他多彩に収録。

A5版・152頁、定価1000円、送料240円、各県本部でお求めください。

企画・編集 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

